

1.10 期待と責任を心に刻んで

1月10日、文化ホールで新成人の新たな門出を祝うため、成人式を開催しました。

今年、境港市で新成人となったのは424人、式典には、324人が出席し会場は活気で満ちあふれました。

遠藤美帆さん（竹内町）が新成人の代表謝辞で「これからも境港という地を心のよりどころとしてがんばっていきます」と誓いました。

式典終了後のロビーでは、久しぶりに会った仲間が集まり、近況報告や記念写真などで盛り上がりました。



1.17 No.1のまちから感謝の気持ち

1月17日、水木しげるロードで「カニ感謝祭」が開催され、周辺は多くの観光客などでにぎわいました。

カニ太郎が率いるパレードの参加者には、カニがプレゼントされることもあり、水木しげる記念館前には長い行列ができました。

パレードの終点である妖怪神社では、関係者や妖怪たちが松葉ガニとベニズワイガニを奉納し、豊漁と観光の発展を祈願しました。



1.21 協働のご意見番 再始動

1月21日、市民活動センターで、第2期みんなでまちづくり推進会議の初会合が行われました。

これは、平成19年の「境港市みんなでまちづくり条例」制定に伴い、市の協働のあり方や具体的な事業の評価・検討を行うことを目的に設置されたもの。

この日は、昨年春に実施した市民アンケートの結果や中海市長会の取り組みの説明を受けた後、それぞれが感じる境港市の課題について、市長と懇談。観光や自治会のあり方など幅広い意見が出されました。



1.25 美保湾の生態を体感

1月25日、市役所で境港総合技術高校海洋科の生徒8人が漁礁の調査結果を発表しました。

地域産業の担い手育成プロジェクトの一環として取り組まれ、昨年11月に生徒自ら、美保湾に潜水し、海底に沈む漁礁の状況を確認しました。

生徒が撮影した水中のビデオの映像には、漁礁は良好な状態で機能していることが確認され、多くの魚が回遊している様子も記録されていました。

漁礁を利活用するための貴重な資料となりました。